



三沢さとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

館山港多目的棧橋に

大型バスの回転スペースを

台風被害の住宅支援継続

館山市選出の三沢智(みさわさとし)県議は、新年度予算案の審議を主な議題とする2月定例会議の一般質問に登壇しました。三沢県議は、館山市を中心とする南房総地域の活性化を視野に、館山港の多目的棧橋に大型バスが回転できるスペースを設け、地域観光の層の起爆剤とするよう要望しました。ほかにも、道路や河川などのインフラ整備を求め、昨年の房総半島台風で大きな被害を受けた被災住宅の復旧については、森田知事から最後までしっかりと支援するとの約束を取り付けました。三沢県議の主な質疑を特集しました。

機能強化を確実に

三沢議員 館山港の活用 環境の整備を行うことにより、今後も館山港が観光の拠点として、多くの人が集まる場所となるよう、施設の充実や受け入れ



コロナ対策をして壇上に立つ三沢県議

農林水産部長 漁港の市場を活性化について、どのように考えるのか。

漁港の活性化

三沢議員 船形漁港の市場の活性化について、どのように考えるのか。

農林水産部長 漁港の市場を活性化するためには、市場の計画的な統合や施設の近代化により、流通機能を強化し、価格形成力のほか、品質やコスト面での競争力を高めることが重要だと認識しています。

三沢議員 一部地域では、来年度も事業を継続することです。工事完了していない被災住宅の住民の方々は、いつ起こるか分からない災害などに不安を持ち続けている状況にあります。1日も早い復旧に向けて、今後もしっかりと支援を行なっていただきたいと思います。

目的棧橋における大型バスの回転スペース確保に向けた取り組み状況はどうか。

県土整備部長 館山港多目的棧橋は「にっぽん丸」などの旅客船が寄港し、県内の観光地を巡るバスツアーの起点として利用されるなど、南房総地域の活性化に寄与していますが、利用者からは、バスが安全に回転

海岸駐車場の管理

三沢議員 北条海岸駐車場の利用について、明確なルールづくりをするべきと考えるがどうか。

県土整備部長 北条海岸の駐車場は、無料かつ常時解放されていることから、多くの方々に利用いただいています。しかしながら、

県としては、マリンスポーツが活発になる春に向け、館山市と協議しながら、駐車場利用に当たってのルールを作成し、周知してまいります。

三沢議員 令和元年房総半島台風等における県独自の一部損壊等住宅への支援状況はどうか。また、工事が完了していない住宅への支援は今後どうなるのか。

森田知事 これまで支援制度の周知や工事業者の紹介を行うなど、支援制度の活用促進を図ってきた結果、12月末現在の申請件数は、24299件、工事完了件数は19040件となっています。しかしながら、一部地域では工事件数に対し、事業者が不足しているなどの理由により、今年度の工事完了

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県事務所
 〒294-0037 館山市長須賀470-1
 TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052

インフラ整備で地域に活力!

館山運動公園の改修を

三沢議員 県立館山運動公園の老朽化した施設の改修状況はどうか。

都市整備局長 本公園は、南房総地域における運動・レクリエーションの場として昭和59年に開設しており、施設の老朽化に対応するため、公園施設長寿寿命計画に基づき、順次改修を行っているところです。

これまでに野球場のスタンドやベンチの改修や、テニスコートの人工芝の張替えを行うとともに、トイレの洋式化を進めるなど、利便性の向上に努めてきました。

来年度は、老朽化した体育館床の大規模改修などを予定しており、今後も利用者が快適に利用できるよう

う、計画的な施設改修に努めてまいります。

要望 南房総地域の災害対応の拠点でもある館山運動公園について、今後とも地元館山市などと連携し、二層の防災機能の強化が図られるとともに、体育館の空調整備についても引き続き検討をお願いいたします。

館山運動公園に通じる国道410号館山市藤原地先の掘削部の区間については、掘削部の本格工事は別として、歩行者スペースを確保するための路肩拡幅が完了していますが、その他の区域については歩行者の安全を確保するため、歩道整備を要望します。

船形バイパスの進捗

三沢議員 私の住む館山市を含む南房総地域は、花や緑や海といった自然あふれ、観光の拠点となる道の駅も多数あり、観光客には魅力ある地域です。

館山市船形地先などで整備されている船形バイパスは、富津館山道路の富浦インターチェンジから、市内の観光拠点である「渚の駅」まで「やま」や「多目的観光棧橋」をはじめ、洲崎、平砂浦、ひいては白浜、千倉などの名勝地まで周遊いただくための重要な道路だと考え、大きな期待を寄せています。

掛館山線の国道127号から館山市船形までの現道では、道路の幅員が狭く屈曲していることから、安全で円滑な交通を確保するため、館山市と協働して1.6キロの船形バイパスを整備しています。

このうち、県が整備している南房総地域の0.5キロ区間については、用地取得率が約7割となり、またまた用地を確保できたことから、令和3年度からは順次、こうした箇所から道路改良工事を進めていくこととしています。引き続き、地元の方々のご理解とご協力をいただきながら、残る用地の取得を進め、事業を推



自席で答弁を聞く三沢県議

進してまいります。

要望 県道館山大貫千倉線について現在、

滝川の整備状況

三沢議員 2級河川、滝川について質問します。平久里川の支川である滝川は、

令和元年10月の房総豪雨で、滝川の上流域において道路冠水の被害が発生して

県により整備を進めている館山市の未改良区間について、早期整備を要望します。

おり、多くの地元住民が不安な気持ちを抱え、一刻も早い滝川の整備が望まれているところです。2級河川滝川の整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 滝川では、平久里川合流点から山名川合流点までの3.6キロ区間において、河道を拡幅する整備を進めており、こ

れまでに平久里川合流点から館野橋上流までの2.4キロ区間を完成しています。現在、残る1.2キロ区間について、用地取得を進めるとともに、またまた用地が確保された箇所から、順次、河道掘削や護岸の整備を実施しているところです。

今後とも、地元の皆様のご理解とご協力をいただき

ながら、残る約1.5ヘクタールの用地取得に取り組み、事業の推進を図ってまいります。

要望 用地買収を担当される土木事務所の職員の方には、大変なご苦労があると思いますが、滝川の早期改修のため、計画的に工事が進むよう、引き続き頑張ってください。

児童支援員の資質向上へ向け

三沢議員 放課後児童クラブは、保護者が就労しながら、子どもが放課後を安全安心に過ごせる場所として、また、子どもの健全な成長、発達を保障し、その自立を支援する大切な場所として、大きな役割を果たしています。

放課後児童クラブの待機児童解消に向けた取り組みはどうか。

森田知事 県では、待機児童解消に向け、各市町村が十分な数の施設を整備できるように、施設整備に要する費用や運営費について補助を行っています。

また、整備に伴い必要となる人材を確保するため、県では、放課後児童支援員を養成する研修を実施しているところですが、本年3月からは、保育士の就職支援を行なっている、ちば保育

士・保育所支援センターにおいて、新たに放課後児童支援員のマッチングを開始する予定です。

引き続き、事業の実施主体である市町村と連携しながら、待機児童の解消に努めてまいります。

三沢議員 放課後児童支援員の資質向上にどのように取り組んでいるのか。

健康福祉部長 県では、放課後児童支援員の資質向上のために、発達障害児への支援、あるいは、いじめや虐待への対応など現場の課題をテーマとした研修を行っているところです。

来年度は、年8回、延べ1600人を対象に研修を実施する予定であり、今後も現場のニーズを踏まえて、放課後児童支援員の資質向上に努めてまいります。

要望 引き続き、放課後児童支援員の資質向上に取り組んでいただくとともに、子育てに希望を持つことができる環境づくりのため、放課後児童クラブの待機児童解消を今まで以上に加速させていただけるよう要望します。

放課後クラブの待機児童解消を



本会議場の壇上に立つ三沢県議